

テ沈没セリ洵ニ痛恨ニ堪ヘスト維モ
強大ナル敵國ニ對シ干戈ヲ交フルニ
當リテハ多數ノ兵力ヲ犠牲ニ供セリ
ル可クサレハ言フ要セサル所ニシテ能ク終
局ノ目的ヲ達セムニハ前途尚多クノ
損害ヲ受クルコトアルヘキヲ覺悟セサ
ル可クサレナリ
今我海軍ハ斯ク如ク一大不幸ニ遭
遇シタルモ其ノ現存セル執力ハ彼ノ全
力ニ對シ尚綽々トシテ餘裕アルヲ認
ム然レトモ敵ハ我不幸ヲ利用シテ以テ
豫想外ノ成效ト報復トヲ得タルモ
ノトシ之ヲ誇張シテ沮喪セリ兵氣

ノ振作ヲ図ルト共ニ無能的敗北ノ汚
名ヲ雪カムコトヲ努メ列國ヲシテ自己
ニ重キヲ置カシムコトニ汲々タルヘキハ
彼カ從來ノ慣用手段ニ徴シテ明カ
ナリ夫レ戰機ハ固トヨリ兵力ト策謀
トニ繫ルト雖モ一般ノ氣勢ニ由
モノ亦實ニ大ナル思フ此ノ時ニ際
シ我邦ノ執ルヘキ措置置如何
ヲ現實ニ發揮スルト同時ニ一般ノ
元氣ヲ維持シ國民ヲ同時ニ一般ノ
信心ノ念ヲ堅持シメ以テ出陣軍
ノ士氣ヲ鼓舞シテ益々奮勵事

ニ従フノ意志ヲ強クシ且我威武ヲ
海外ニ保維シテ締盟列國ノ同情
ト畏敬トヲ増進シ敵ヲシテ到底
不可抗ノ觀念ヲ抱カシメ加フルニ
他日外交ノ折衝ヲ必要トスルニ當
リ大ニ實力の援ヲ寄與スルニ爲
備ヘサル可カラサルヲ爲
急ニ速敏治ニ勢力ノ補充ヲ實行
シテ我ニ毫釐ノ隙モ間隙アラシメサルノ
計ヲ立ツルハ瞬時モ措ク可カラサルノ
緊要事ナリトス然リ而シテ執力カ
ニ補充ニ関シ戦艦ヲ然リ而シテ執力カ
ル策ヲ執ラムトモハ徒ニ數多ノ

年月ヲ要シ殊ニ交戦中ニ於テ之
ヲ我ニ領有スルモ亦難キヲ虞
ル偶々智利國等ニ於テ軍艦ヲ賣
却セムトスルモナキニ非スト維
ニ等巡洋艦ヲヤカフコノ外ハ多ク
舊製古式ニ屬シ我カメ希望ヲ滿
タスコト能ハサルノミナラス事
威信ニモ關係シ決シテ得策ニ非
スト思考ス
是ヲ以テ如上ノ目的ヲ達セムトス
速ニ我工廠ニ於テ排水量壹萬參
千噸内外ノ装甲巡洋艦貳隻
ノ建造ニ着手シ又外國ニ於テ

特製ノ潜航艇五隻ヲ新造セシメ
以テ今日ノ急需ヲ充タスハ最モ
機宜ニ通スル良手段ナルヲ疑ハカ

又聞ク敵國ハ月下建造並ニ機装
中ニ係ル戦艦ノ計フルモ其ノ
數七隻ニ上リ漸次其ノ勢力ヲ
増加セムトスト而シテ既ニ若干潜
航艇ヲ旅順及浦港ニ輸送シタ
リトノ情報ニ接セリ乃チ早ニ此
事ノニ依リ全局ノ情勢ヲ考察
スルモ尚ホ且ツ帝國ハ船艇ノ増加
ヲ行ハサル可ラス而モ其ノ數ハ少ナ

クモ前記ノ隻數ヲ下ル可ラサルヲ認
ム現ニヤ如上ノ理由アルニ於テハ此際
速ニ之ヲ遂行シ以テ彼我ノ對勢
ヲ維持スルニ極メテ緊要ノ事ニ
屬シ本大臣ノ切ニ焦慮スル所ニ

依テ茲ニ本大臣ハ臨時軍事費ノ
支出トシテ装甲巡洋艦貳隻及
潜航艇五隻ノ製造ヲ經畫シ
且装甲巡洋艦ヲ成ルヘク短日月ノ
間ニ内地ニ於テ建造スルニ特ニ必
要ナル機械ヲ増備シ量定シ別
紙計算書ヲ添付シテ閣議ニ別

提出ス宜シク速ニ廟議ノ在所
決定シ以テ軍國ノ大計ヲ確立セ
ラレムコトヲ請フ
明治三十七年五月二十三日

海軍大臣 岡村 武揚
内閣總理大臣 伊藤 桂太郎 殿



臨時軍事費支出計算書

臨時軍事費	豫算總額			支出		
	明治三十七年	明治三十八年	明治三十九年	明治三十七年	明治三十八年	明治三十九年
臨時軍事費	七六二、二〇〇、八六二、九七九、五三八	八九四、九七九、五三八	七六三、四六六、二六〇	七六二、二〇〇、八六二、九七九、五三八	八九四、九七九、五三八	七六三、四六六、二六〇
臨時軍事費	一、九八八、〇〇〇、〇〇〇	七、八六六、八〇〇、〇〇〇	六、二四九、六〇〇、〇〇〇	一、九八八、〇〇〇、〇〇〇	七、八六六、八〇〇、〇〇〇	六、二四九、六〇〇、〇〇〇
臨時軍事費	一、七四四、三三三、〇〇〇	六、三三三、八〇〇、〇〇〇	六、二四九、六〇〇、〇〇〇	一、七四四、三三三、〇〇〇	六、三三三、八〇〇、〇〇〇	六、二四九、六〇〇、〇〇〇
臨時軍事費	二、一八三、七〇〇、〇〇〇	二、一八三、七〇〇、〇〇〇	〇	二、一八三、七〇〇、〇〇〇	二、一八三、七〇〇、〇〇〇	〇
臨時軍事費	八、三三三、八〇〇、〇〇〇	三、六六六、八〇〇、〇〇〇	二、一八三、七〇〇、〇〇〇	八、三三三、八〇〇、〇〇〇	三、六六六、八〇〇、〇〇〇	二、一八三、七〇〇、〇〇〇
臨時軍事費	七、八七五、五八八、三三三、八〇〇	三、三三三、八〇〇、〇〇〇	一、二四八、二六〇、〇〇〇	七、八七五、五八八、三三三、八〇〇	三、三三三、八〇〇、〇〇〇	一、二四八、二六〇、〇〇〇
臨時軍事費	一、四七三、三三三、〇〇〇	一、四七三、三三三、〇〇〇	〇	一、四七三、三三三、〇〇〇	一、四七三、三三三、〇〇〇	〇

軍艦製造費總額内訳

金額 備考

紫田巡洋艦二隻製造 二五、二七九、七五八 内國製造名度万三千五百噸

造船費 一七、四〇三、三〇〇

甲鐵材料費 四、八六九、〇〇〇

船体費 七、二七六、〇〇〇

機関費 三、六二六、八〇〇

備品費 一、八〇〇、〇〇〇

機械運轉費等 六、三三六、〇〇〇

進水式費 四、〇〇〇、〇〇〇

豫備費 二、八〇九、〇〇〇

機械費 五、〇〇〇、〇〇〇

造船兵費 七、八七五、四八八

潜航艇五隻製造

外國製造排水量各百廿拾噸

造船費	二二三、四三五〇〇
船体機関並に技術費用 機材運搬費保修料	二二八、三七〇、〇〇〇
備品費	一九七五、〇〇〇、〇〇〇
組立費并に試運 轉費	二〇、〇〇〇、〇〇〇
機材運搬費保修料	八三、七五〇、〇〇〇
豫備費	二〇、九五〇、〇〇〇
造兵費	八四、〇〇〇、〇〇〇
	一四七、七五〇、〇〇〇

軍艦製造費内外國拂込分表

年度	造船費	造兵費	計
三十七年度内 支出スル分	七、八六六、二八〇、〇〇〇	三、六九一、六八五、四三八	一一、四九七、九六五、四三八
内 不	三、四三二、一三六、〇〇〇	一、六九〇、〇〇〇、六三三	五、一二二、一三六、六三三
外 不	四、四三三、一四四、〇〇〇	二、〇〇一、六八四、八五五	六、四三四、八二八、八五五
三十八年度内 支出スル分	五、七六六、七八〇、〇〇〇	三、八二九、九二二、〇〇〇	九、五九六、七〇二、〇〇〇
内 不	四、四三六、〇四二、〇〇〇	二、八二二、三五〇、〇〇〇	七、二五八、三九二、〇〇〇
外 不	一、三三〇、七三八、〇〇〇	一、〇〇七、五七二、〇〇〇	二、三三八、三五〇、〇〇〇
三十九年度内 支出スル分	六、〇一四、九六〇、〇〇〇	一、二四八、五〇二、〇〇〇	七、二六三、四六二、〇〇〇
内 不	五、九六四、九六〇、〇〇〇	一、二四八、五〇二、〇〇〇	七、二一三、四六二、〇〇〇
外 不	五、〇〇〇、〇〇〇	〇	五、〇〇〇、〇〇〇
合計	一九、九八八、〇二〇、〇〇〇	八、〇二二、八〇八、八二七、六二二、〇〇〇	二八、〇一〇、八二八、八二七、六二二、〇〇〇
内 不	一三、八三三、三七二、〇〇〇	五、六六六、五三三、九三二、九四九、二六八、一三三	一九、四九九、九〇五、九一五、一三三

特

內閣書記官

7

内閣書記官長

馬

外務大臣

大藏大臣

海軍天所

文部省

廣

內務部

陸軍大臣

司法大臣

農商務省



庚

和

○

L

收

依

五

報

海軍大に接艦艇緊急補充
、附志件